

事務事業評価表(既存事業)

コード 5-2-1	事務事業名 リサイクル推進啓発活動事業	所管部課 環境防災部ごみ減量推進課
--------------	------------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 ごみの減量を進めるため、資源となる廃棄物について再利用、再生利用をするよう市民に対して意識啓発を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)環境にやさしいまちづくり (施策)ごみ対策の推進(環2-2) (主要施策)ごみの減量に向けた意識啓発
	実施内容、実施方法 ・市民にパンフレットを配布する。 ・市報等による市民への周知を図る。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 パンフレット作成回数	活動指標の考え方(定義) パンフレット(市内全世帯配布用)を作成した回数
	成果指標名 パンフレット配布枚数	成果指標の考え方(定義) パンフレットの配布枚数
	総資源化率(リサイクル率)	(資源ごみ量 + 集団回収量 + 収集後資源化量) ÷ (総ごみ量 + 集団回収量)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		5,273	12,890	4,117	3,720	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		5,273	12,890	4,117	3,720	
	所要人員(B)	人	0.80	0.80	0.80	0.80	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	6,597	6,618	6,662	6,662	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	11,870	19,508	10,779	10,382	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(パンフレット配布枚数)	千円	0.07	0.08	0.05		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回			3	2
		実績値	回	3	5	3	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	枚			200,000	195,000	
	実績値	枚	167,000	231,000	200,000		
成果指標	目標値	%			25	25	
	実績値	%	21	22	22		

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市民からはごみ減量、リサイクルに係る問い合わせが多く、パンフレット等わかりやすい資料を作成し、市民の理解と協力を求めている。
	国・都・他市・民間等における類似事業	他市においても制度に係るPRを行っている。
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 5 - 2 - 1	事務事業名 リサイクル推進啓発活動事業	所管部課 環境防災部ごみ減量推進課
------------------	------------------------	----------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	ごみの分け方、出し方や各種制度を周知し、かつ、市民のニーズに応えるにはさらなる数種のパンフレット等の作成・配布が必要である。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	リサイクル推進事業は市民の理解と協力が必要とされる。私達の暮らしを環境にやさしいものに変え、限りある資源を守り、循環型社会へ向けて私達ができる身近なところから、ごみそのものの発生を抑えたり、従来はごみとして捨てていた物を再利用したりすることで、ごみとして処分する物をできるだけ少なくする必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	費用については特に問題はない。本事業に要する費用は、パンフレット等の印刷製本費と全戸配布するための配布委託料が主なものである。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	パンフレットは全戸配布しており、公平性に問題はない。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	資料の作成種類の増や、市民にわかりやすい内容とすることにより一層の市民の理解と協力が得られる。14年度から16年度では、ごみパンフレット・ごみカレンダー・粗大ごみパンフレットを作成した。

17年度における改善点	市報への掲載は継続的に実施し、HPについてはさらに充実を図る。転入者及び外国人への周知を図る。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。